

会 議 概 要

会議の名称	第1回 第3期湧別町総合計画審議会 協働・行財政専門部会
開催日時	令和3年4月14日（水） 13時34分 開会 15時37分 閉会
開催場所	文化センターTOM 研修室
出席者名	委員：平井専門部会長、梅田・細川・本村・村田・石田各 委員 策定委員：石塚・大塚・根子各課長、中川・大口・鈴木各主幹 事務局：因課長、西海谷主幹、奥田主任
欠席者名	中川委員
傍聴人の数	無し
会議の内容	1. 開会 2. 会議成立報告 3. 部会長挨拶 4. 基本計画の審議について （1）町民協働 （2）情報共有 （3）行政効率化 （4）財政運営 5. 次回会議日程について 6. 閉会
会議資料	第1回 第3期湧別町総合計画審議会 協働・行財政専門部会議案 資料1 第3期 湧別町総合計画（諮問案） 第3期 湧別町総合計画審議会追加資料 第1回第3期 湧別町総合計画審議会会議録
会議録	■ 有 （ □全文筆記 ■要点筆記 ） □ 無
備考	

1 (てん末書用紙)

てん末書

1 日 時

令和3年4月14日(水) 午後1時34分から午後3時37分

2 会 場

文化センターTOM 研修室

3 会議及び用務

第1回 第3期湧別町総合計画審議会 協働・行財政専門部会

4 出席者

委 員

平井専門部会長、梅田・細川・本村・村田・石田各委員

※欠席：中川委員

策定委員

石塚課長、大塚課長、根子課長、中川主幹、大口主幹、鈴木主幹

事 務 局

因課長、西海谷主幹、奥田主任

5 結果要旨

第3期湧別町総合計画審議会における第1回目の協働・行財政専門部会を開催しましたので、報告いたします。

1. 開会

2. 会議成立報告

3. 部会長挨拶

4. 基本計画の審議について

平井部会長から、会議時間(概ね2時間)及び議事進行方法(項目ごとの説明と審議)について提案し、委員からの異議なく審議に移る。

以降、諮問案の分野ごとに事務局説明の後、項目(「現状と課題」、「10年後のめざす姿」、「主要施策」、「施策の評価指標」)ごとに質疑を受け、内容について審議を行った。

(1) 町民協働

【質疑・審議】

梅田委員) 自治会のあるべき姿を明確にしとあるが、自治会にどのようなものを求めているのか。

⇒ 石塚課長) 地域のことは、地域に住んでいる皆さんが自分たちで決め、進めていくというのが基本的な考えです。

梅田委員) 具体的にどのような体制にするかを、これから議論していくということか。

⇒ 石塚課長) そうです。ただ、自治会は自主組織なので町から活動に対し指示することはできない。基本的には自治会のことは自治会で決めることを念頭におきながら進めて行くこととなる。

2 (てん末書用紙)

梅田委員) 若者世代のコミュニティ活動離れなどの自治会存続に係る問題との関連で、アンケート結果では若い世代の「住み続けたい」が特に低く、この部分を改善しなければ必然的に地域に対する関心も低いままなのではないか。

⇒ 石塚課長) アンケート結果については、若者世代はやはり都会志向が強く、高齢者については医療等で不満な部分もあるが、住み慣れた地域に住み続けたいと思う人が多いのではないかと思われる。

梅田委員) 地域への愛着については、子どもを通し人間的な関係性を深めることでその意識が出てくることもある。この町民参加については、現状と課題に対するより具体的な策を積極的に進める必要があると感じた。

(2) 情報共有

【質疑・審議】

梅田委員) 地域の活動に必要な情報についても、個人情報保護の観点から情報の共有が図られないケースがある。過度な個人情報の保護は地域コミュニティの形成の妨げになる場合がある。行政としては必要最低限の情報は自治会と共有できる形をつくらなければ、地域の助け合いにも繋がらない。

⇒ 石塚課長) 個人情報については法律により取り扱いが難しく、基本的には当事者の了解が大前提となる。

平井部会長) 個人情報保護の問題はあるものの、地域のコミュニティを形成するためには情報共有は必要である。若い世代との考え方の違いはあるが、個人を尊重しながら前向きに助け合える地域づくりを考えていかなければならない。

村田委員) 情報発信の方法で、今後はインターネットによる情報発信が主となると思うが、インターネットができない高齢者には引き続き紙媒体も必要である。

細川委員) アンケート結果(24頁)では、若者世代より高齢者の方がホームページを見ているという結果となっている。若者世代がホームページを見るきっかけがあればいいと思う。

⇒ 石塚課長) すべての町民がインターネットを使用できる環境にはないので、紙媒体での発信は残していく。ホームページについては、今年3月にリニューアルし、以前よりアクセス数も伸びている。これからも広報誌を含め町民に対し見やすい形での情報発信を心掛けていく。

梅田委員) 広報の中で吹き出しを活用した手法が良かった。この手法をチューピットや産業レンジャーに応用したら若者世代も見るとは。

⇒ 石塚課長) 今後の参考とする。

(3) 行政効率化

【質疑・審議】

3 (てん末書用紙)

梅田委員) 自治体クラウドのデメリットはあるのか。

⇒ 石塚課長) すでに町単独でのクラウド管理はしており、セキュリティの問題も特にない。今後は国で定める標準化された情報システムを導入し、複数自治体でのクラウド管理を進めることで、従前より経費も削減される。

(4) 財政運営

【質疑・審議】

梅田委員) 公共施設等総合管理計画の累積削減率がなぜ指標となるか。

⇒ 因課長) 現在、老朽化した公共施設が増え施設の維持費が町の財政負担となっている。国主導で策定することとなった本計画では、40年間で40%削減することを目標としており、耐用年数を向かえた施設の解体や統廃合を地域の実状などに応じて進めることで維持費を削減し、これにより財政の健全化が図られることから、評価指標としている。

村田委員) 富美地区には教員住宅があるが、富美小学校の教員以外の他学校教員も利用している。今後も教員数に応じて住宅に不足が生じないように有効活用する必要あると思う。

⇒ 因課長) 教員住宅については今後の教員数も見据えて判断していく。

梅田委員) 国主導ということだが、国では人口に応じた削減率を示しているのか。また、削減率だけで判断するのではなく、例えば地域産業の就労者への住宅や、場合によっては自治会への譲渡などの用途変更など、施設の有効活用が大前提ではないか。

⇒ 因課長) 施設の再編計画については、地域の実情などを考慮した上で実施していく。削減率としては10年間では10%の削減が目標となるが、これは各施設の維持費と財政状況を見据えて算出している。また、施設の用途変更などは現在も行っており、柔軟に対応していく。

村田委員) 一番解りやすいのが耐用年数による解体であるが、自治会で管理している施設では葬儀なども減り収益となるものがなく先細りの状況となっている。町に施設を戻す話もあるのではないか。

⇒ 大塚課長) 目標削減率については、既存施設を継続して維持する場合、将来費用の40%が財源不足となることから数値設定している。計画では廃止だけではなく統合、用途変更、譲渡、更新のそれぞれの区分ごと施設の方針を設定しており、地区会館などの場合は、自治会の意向を確認した上でその方針を決定する。また、学校や公営住宅については個別の計画があることから、その計画を尊重することとなっている。

平井部会長) 旧芭露小学校体育館にある郷土資料について、今後JRYでの展示など利活用の予定はあるのか。

⇒ 因課長) 郷土資料については研究のため出し入れできるような状態で保管

4 (てん末書用紙)

していると聞いている。

梅田委員) SDGs の関連で、3R の推進について資源の再利用や行政としては何か取り組みをしているのか。

⇒ 因課長) 3R については、以前は行財政改革の中で再生紙の利用を進めたことがあるが、逆に経費がかかり現在はしていない。職員間の通知などはパソコンを使用しペーパーレス化を図っている。

石田委員) 公共施設の管理で公園のレンガに一部破損している部分があった。通常、施設の補修は町民からの連絡により行うこととしているのか。

⇒ 因課長) 通常は担当が管理・点検しその都度、必要に応じて補修しているが、今回のように発見次第連絡を頂ければありがたい。

梅田委員) 人口の減少などにより交付税が減少しているが、交付税は歳入全体の何割か。

⇒ 因課長) 交付税と譲与税を含めて5割程度となる。現在は長期的な展望に立った財政運営が求められているが、国の動向次第で自治体の財政は窮地に立たされる。人口減少により税収が減る中で、歳出を削減し効率化を図らなければならない。ちなみに財政調整基金は約40億円保有しており、道内で6番目の額である。これまでの10年間で効率的な財政運営の結果であると思う。

梅田委員) これまで一番多かった交付税が減った場合、それを補うのは観光や産業による歳入となるが、総合計画の中ではそういった視点で財政のことを捉えている部分はあるのか。

⇒ 因課長) 町内の経済で考えた場合、基幹産業である第1次産業への各種施策を行うことにより、漁獲や農産物の生産性が向上し収益が増加し町税も増え、財政運営のための歳入の確保にも繋がることとなる。

※予定していた計画審議について終了。

5. 次回会議の日程について

事務局から次回会議の日程について提案し他の委員から異議がなかったため、次の日程で開催を決定。

第2回協働・行財政専門部会開催日時：令和3年4月30日(金)午後1時30分

〃 開催場所：上湧別コミュニティセンター 2階大会議室

6. 閉会